

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補 ・ 県単

事業名

道路事業〔緊急道路整備改築事業(国補)〕

事業箇所

山梨市牧丘町倉科

地区名

(一) 塩平窪平線（倉科）

事業主体

山梨県

計画期間

当初計画

現計画

変更計画

R2～R7

—

R2～R17

総事業費

420 百万円

—

1,450 百万円

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

一般県道塩平窪平線は、山梨市牧丘町北原から山梨市牧丘町窪平に至る全長約11kmの路線であり、沿線の集落と国道140号を結ぶ唯一の生活道路として機能するとともに、沿線には果樹園（ぶどう・もも）が点在し、果樹栽培が盛んな地域であることから観光客が多く通行する。

当該区間は、道路の幅員が狭くカーブが連続することから、視認性が悪く安全性が確保されていない。このことから、地元からは線形改良や道路の拡幅等の整備について早急な対応を求められている。

○主要目標

○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上

・道路改良率：39.8%（事前評価時）＜64.0%未満※

・混雑時走行速度：28.0km/h（事前評価時）＜30km/h以下※

※評価基準値

○副次目標

○副次効果

○アクセス機能の維持

（1箇所の通行止めて迂回に2倍以上の時間が必要となる道路）

②事業概要

道路改良 L=640m W=5.5（10.0） m

③全体計画

		令和6年度まで	令和7年度 （評価実施年度）	令和8年度以降
現計画	工事内容	測量設計 用地補償 道路改良工事	道路改良工事	
	事業費	340 百万円	80 百万円	
変更計画	工事内容	測量設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事 橋梁工事
	事業費	303 百万円	103 百万円	1,044 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項（関連事業概要等）

・（一）塩平窪平線（久保工区） 道路改良L=880m H15～H25

・（一）塩平窪平線（西保下工区） 道路改良L=1,000m H14～R1

・（一）塩平窪平線（西保中工区） 道路改良L=468m H24～R8

⑤これまでの評価状況

・なし

(2) 事業位置図等

今回評価区間

道路改良 L=640m W=5.5(10.0)m

西保中工区

道路改良 L=468m

西保下工区

道路改良 L=1,000m

久保工区

道路改良 L=880m

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画（令和5年10月改訂）
- ・山梨県強靱化計画（令和6年3月改訂）
- ・山梨県社会資本整備重点計画（第四次）（令和4年9月改訂）

⑤自然環境条件等

変化なし

⑥その他

変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		420	百万円	1,450	百万円
工 期		R2～R7		R2～R17	
経 済 効 率 性	評価基準年	R1		R7	
	費用	360	百万円	1,222	百万円
	建設費	328	百万円	1,187	百万円
	維持管理費	32	百万円	35	百万円
	その他	0	百万円	0	百万円
	便益	775	百万円	1,611	百万円
	走行時間短縮	731	百万円	1,464	百万円
	走行費用減少	32	百万円	134	百万円
	交通事故減少	2	百万円	8	百万円
	その他※	10	百万円	5	百万円
B／C		2.2		1.3	

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート（２）

（４）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）100.0%→（実績）96.6%→（変更計画）28.0%

②進捗率実績が計画と相違している理由

渡河部の道路計画を検討するにあたり、地元・河川管理者・農道管理者等との協議に想定以上の時間を要したことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
橋梁渡河部の構造変更	750 百万円 増	渡河部の構造変更により、工事費や用地補償費が増加したため。
道路線形の変更	280 百万円 増	地元協議により、道路線形を見直したことによる工事費や用地補償費が増加したため。
合 計	1,030 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

道路計画決定まで時間を要したことにより、事業進捗が遅れているため、工期を10年延長するが、用地取得済み区間から順次工事を発注し、早期の整備効果発現に努める。未契約用地については、継続して用地交渉に努め、令和17年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

早期に未契約用地を取得し、計画的な工事発注を行うことで事業進捗を図る。

（５）環境負荷等への配慮

なし

（６）コスト縮減の可能性

なし

（７）代替案立案の可能性

なし

（８）所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ）

（理由）

本事業区間の整備により、国道140号から西保下集落までが2車線整備され、沿線の観光果樹園などへのアクセス性が向上する。
地元説明会等を通じて、事業への理解は得られており、地域の期待も高いことから、変更計画のとおり事業費と事業期間を変更し、令和17年度の完成を予定している。

〇別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：％

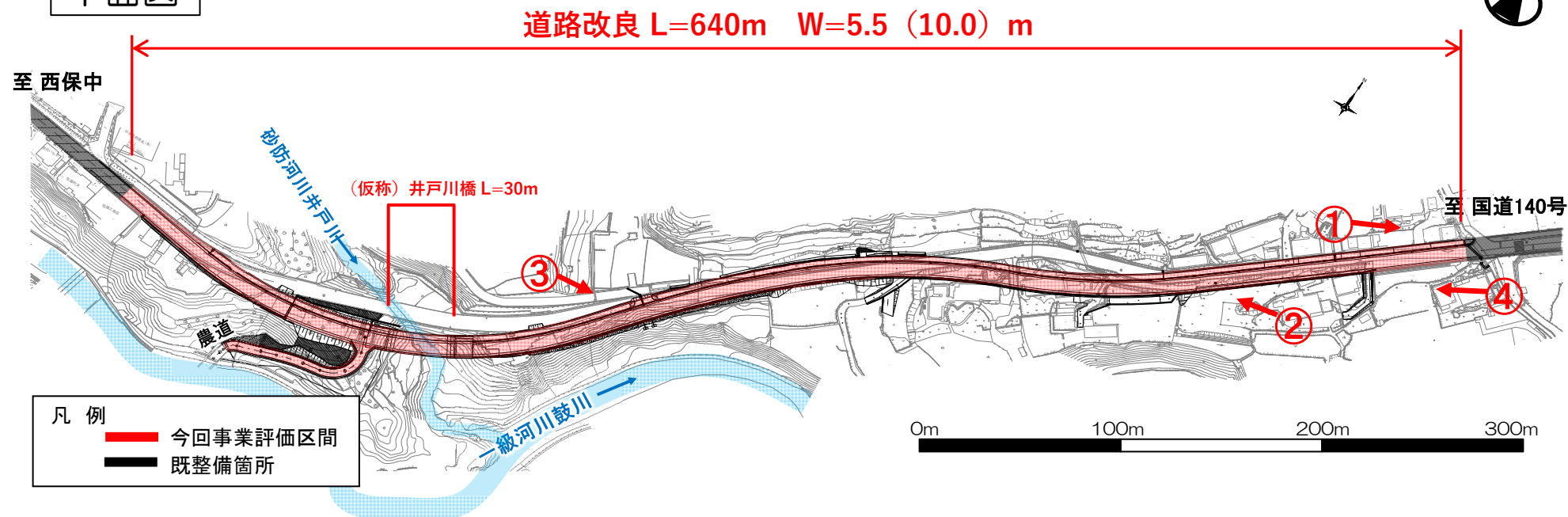
	年度	*R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
現	計画	4.8	23.8	42.9	61.9	81.0	100.0										
	実績	12.8	17.4	52.3	56.1	72.2	96.6										
変更計画							28.0	36.3	43.2	50.1	56.3	63.2	72.1	81.1	88.7	96.3	100

*事業着手年度又は評価年度

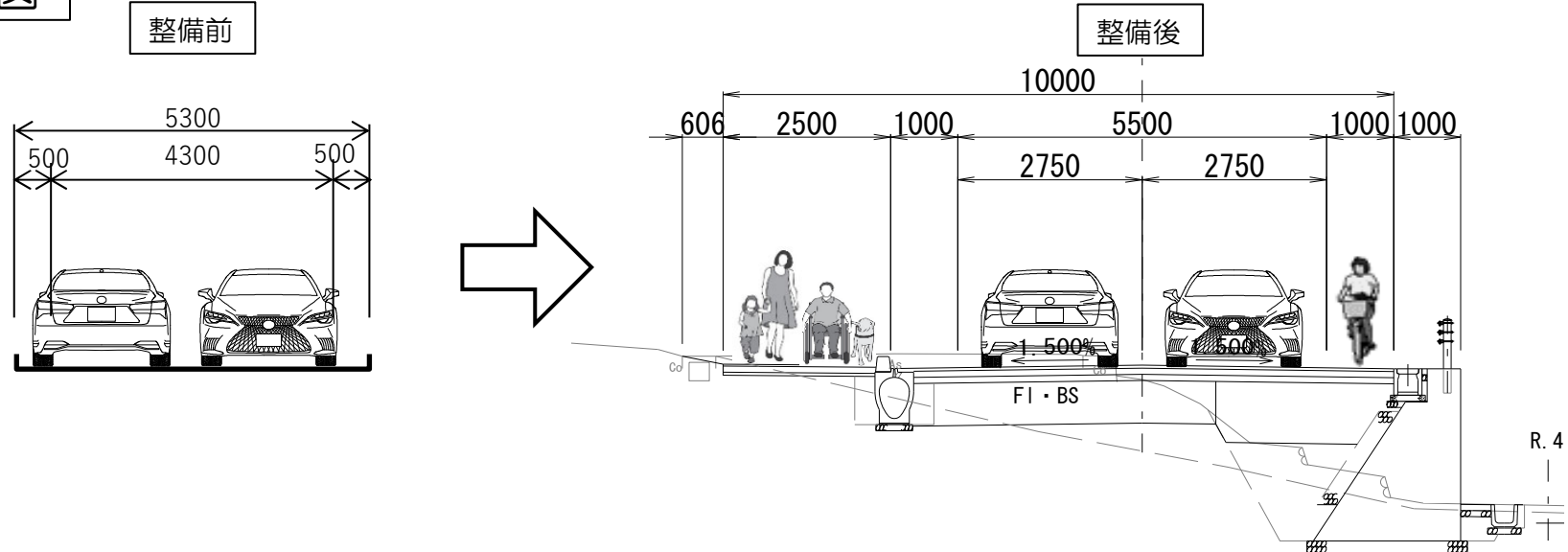
*R7年度の実績は見込み

3.添付資料シート（1）

平面図



標準横断面図



3.添付資料シート（2）



①幅員が狭く、すれ違い時に危険な状況



②幅員が狭く見通しが悪い（交通事故発生箇所）



③既設渡河構造箇所と農道取付部

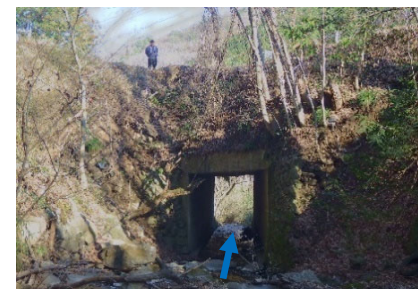
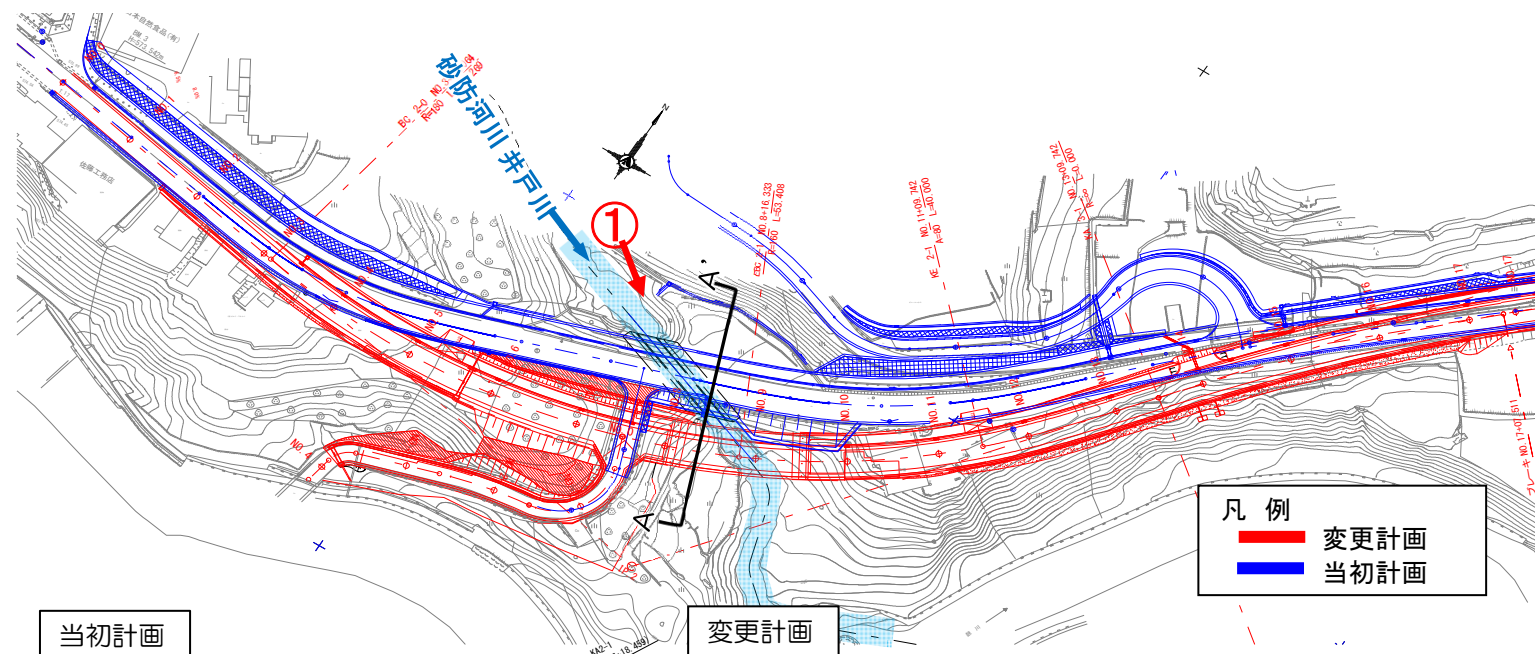


④事業進捗状況（用地買収済み箇所）

3.添付資料シート（3）

変更内容①

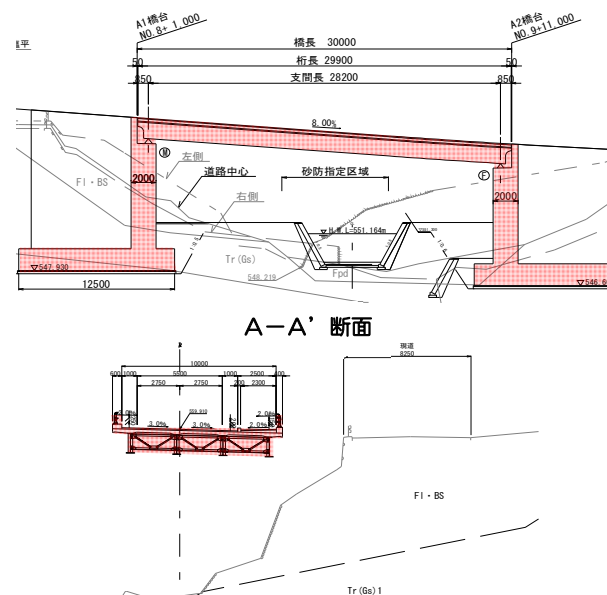
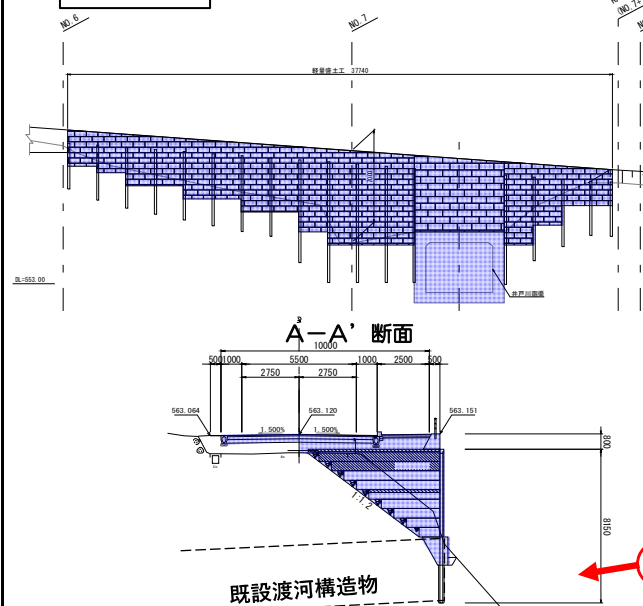
河川渡河部について、既設構造物を現状のまま利用する計画であったが、現地調査により既存不適格構造であることを確認したため、橋梁計画に変更したことにより工事費が増加した。



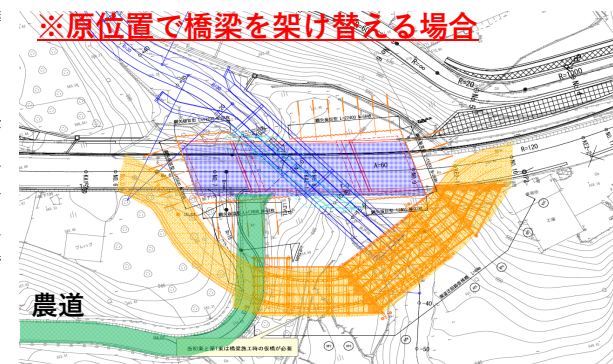
① 既設渡河構造物（上流側）

当初計画

変更計画



※原位置で橋梁を架け替える場合

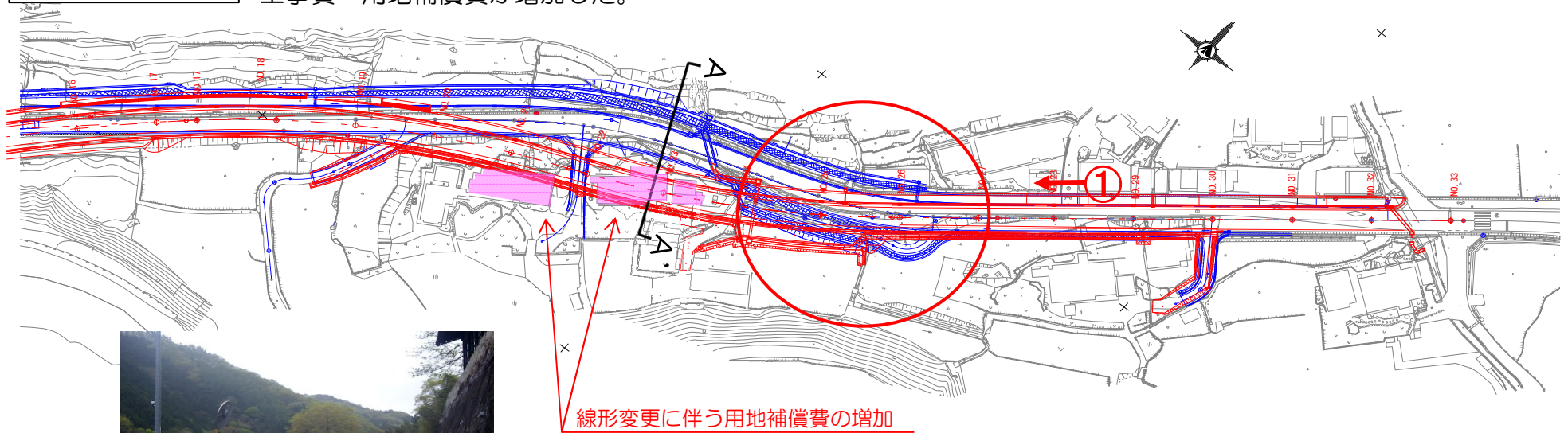


農道の長期間の通行止めが発生
 仮設の迂回路が必要となり、不経済

3.添付資料シート（4）

変更内容②

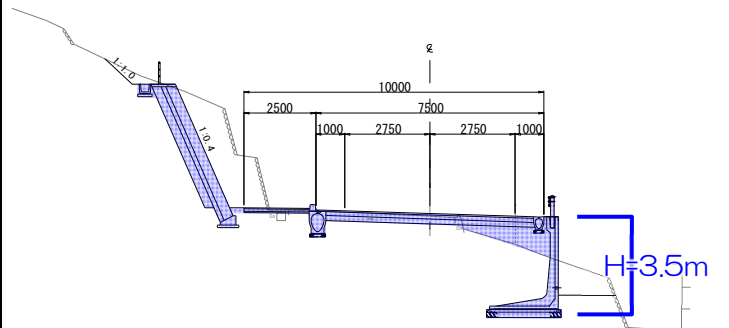
交通事故発生履歴のある見通しの悪い箇所について、地元協議により道路線形を変更したことにより
工事費・用地補償費が増加した。



① 見通しが悪い対向車を視認しにくい交通事故多発箇所

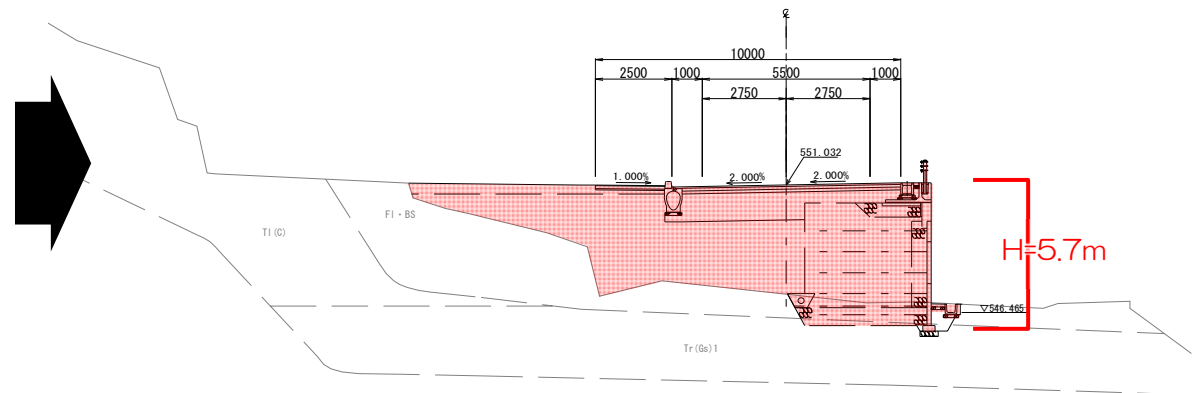
当初計画（A-A'断面）

NO. 23
GH-551.27
FH-551.374



変更計画（A-A'断面）

NO. 23
GH-547.12
FH-551.032



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R2	53,636	構造物予備設計、地質調査、用地調査	3.7%
R3	19,269	道路詳細設計、用地測量	5.0%
R4	146,740	道路詳細設計、橋梁予備・詳細設計、用地補償	15.1%
R5	15,853	道路詳細設計	16.2%
R6	67,700	用地測量、道路改良工事	20.9%
R7	102,542	用地補償、道路改良工事	28.0%
R8	120,000	用地補償、道路改良工事	36.3%
R9	100,000	用地補償、道路改良工事	43.2%
R10	100,000	用地補償、道路改良工事	50.1%
R11	90,000	道路改良工事	56.3%
R12	100,000	道路改良工事	63.2%
R13	130,000	道路改良工事、橋梁工事	72.1%
R14	130,000	道路改良工事、橋梁工事	81.1%
R15	110,000	道路改良工事、橋梁工事	88.7%
R16	110,000	道路改良工事、橋梁工事	96.3%
R17	54,260	道路改良工事、道路台帳整備	100.0%
合計	1,450,000		